

## 2022 小学生チーム



## ■5月の予定表をお送りします。

5月は変則的な練習となります。センターコートしか取れない日は、選手の希望者は、午後も練習できるように終日コートは確保しました。各自昼食などをわざみながら、16:00頃までゲームパターンで回せたらと思いますので、よろしくお願ひいたします。

また例によって、「スポーツ安全保険」(別紙案内参照)に加入しておりますので、全員¥800を徴収させていただきます。



## ■二瓶コーチ

小川コーチの高校時代のチームメイトである二瓶さんが、京丹後にいらっしゃるということがわかって、「FJTCにも顔を出してください。」とお願いしたら、快く練習に参加してくれました。主として中学生トップチームの指導にあたってもらいますので、楽しみに!ただし公務員ですので、いつも来ていただけるとは限りませんので、あしからず。

## ■体調管理をしっかりと!



コロナはまだ続きます。また季節の変わり目なので、免疫力を高めるため、十分な睡眠と、しっかりとした食事を心がけましょう!熱中症にも注意!

## ■大人になるために。

テニスの豆知識 68

新年度になり、みんなの学年が一つ上がって、中学校や高等学校へ進んだジュニアもいますが、それなりに成長が見られて喜んでいます。また、上の世代が抜けたことにより、下の学年がしっかりしてきました。やはり、環境が人を成長させるのでしょうか。人としての成長が、競技における視野の広さや、思考の深さにつながっていきます。結局、メンタル面では特に、年齢的成長を待つことが必要になります。ジュニアを引退した高校3年生が、急に良いテニスをするようになりますが、これも、ジュニアを卒業して次の世代になったという精神的な影響が大きいのでしょう。「大人性」と言えるかもしれません、そういう精神面で成長の早いジュニアと、いつまでも「子ども性」が抜けないジュニアがあります。その違いは何かと考えるときに、やはり「環境が人を育てる」ということに考えが至ります。コーチや教師がその子供を、いつまでも子供として扱っているのではなく、発達段階に応じて、「一人の人間」として人格を尊重して行くことが大切な気がします。その「扱われ方」によって、子供にも自覚と成長が促されるのではないかでしょうか。そう言えば、私の盟友である東山高校・羽谷監督は、選手(高校生)に対し、言葉遣いも含めて、常に一人前の人間(大人)として接しているような気がします。

## ■今後の試合やイベント

テニス協会の試合は7月「サマージュニア」8月「グリーンボール大会」になります。

・新しいホームページ <https://fjtcs.jp/>

FJTC福知山ジュニアテニスクラブ (京都共栄学園内)

620-0933 京都府福知山市篠尾62-5 Tel.0773-22-6241

代表・京都府テニス協会理事 國田 敦・090-3058-5576 Mail : info@kyoei.ed.jp

